

環境政策の最近の流れ

①保護地域関連の主な施策

- 国立・国定公園の新規指定など、各種保護地域の指定が進められた。
- 保護地域以外も含め、重要地域の選定や自然再生その他地域の取組の促進等が進められた。

大分類	小分類	2010年度 H22年度	2011年度 H23年度	2012年度 H24年度	2013年度 H25年度	2014年度 H26年度	2015年度 H27年度	2016年度 H28年度	2017年度 H29年度	2018年度 H30年度	2019年度 H31/R1年度	2020年度 R2年度	
保護地域	○自然公園、自然環境保全地域等、鳥獣保護区、生息地等保護区	屋久島国立公園 国立・国定公園総点検事業の 成果に基づく新規指定など		三陸復興国立公園、 慶良間諸島国立公園		妙高戸隠連山国立公園、 甌島国立公園	京都丹波高原国立公園	やんばる国立公園、 奄美群島国立公園	国立公園満喫プロジェクト		中央アルプス国立公園		
		鳥獣保護区 4件	鳥獣保護区 2件	鳥獣保護区 2件		鳥獣保護区 2件	鳥獣保護区 2件			鳥獣保護区 1件	国立公園 107千ha増 (海域公園地区 47千ha増) 国定公園 83千ha増		
		●種の保存法改正 (特定第二種、二次的自然の希少種)								●生息地等保護区 (大岡アベサンショウウオ)		国指定鳥獣保護区 24千ha増 生息地等保護区 4.5ha増	
	○保護林等、天然記念物等、特別緑地保全地区等	●保護林設定要領一部改正 (森林生物遺伝資源保存林改正(局長による設定可能)、 モニタリングに関する規定の追加など)						●保護林設定管理要領制定 (保護林区分再構築、管理の効率化など)				保護林 195千ha増	
		文化財保護法に基づく名勝のうち自然的なものを21件、同じく天然記念物を39件指定										特別緑地保全地区等 581ha増	
		特別緑地保全地区等205件指定											
○海洋保護区	海洋生物多様性保全戦略	水産基本計画						重要海域	水産基本計画		●自然環境保全法改正(沖合海底)		
○国際的な重要地域	世界ジオパーク1件	世界遺産(小笠原諸島) 世界ジオパーク1件	ラムサール10件 エコパーク1件	世界ジオパーク1件	エコパーク2件 世界ジオパーク1件	ラムサール4件 世界ジオパーク1件		エコパーク2件	ラムサール2件 世界ジオパーク1件	エコパーク1件			
○重要地域選定							重要里地里山500	重要海域 重要湿地500見直し					
○沿岸・海洋	里海づくりの手引書			第2期海洋基本計画			サンゴ礁生態系保全 行動計画2016-2020			第3期海洋基本計画			
○里地里山	里地里山保全活用行動計画						重要里地里山500						
○都市			●都市緑地法運用指針の改正 (生物多様性確保の視点)					都市の生物多様性 指標(簡易版)	●都市緑地法等改正 (生産緑地地区内の緑地保全など)				
○地域の取組	●生物多様性地域連携促進法 (地域連携保全活動)						●地域自然資産法 (保全活動のための資金確保など)				自然資産地域計画(2地域で新たに策定)		
		地域連携保全活動計画(16地域で新たに策定、うち1地域で計画期間満了)											
		エコツーリズム推進全体構想(17地域で新たに認定)											
○自然再生		自然再生全体構想(3地域で新たに策定、他1地域において検討中)				●自然再生基本方針見直し (本格実施の際の課題解決、東日本大震災踏まえた再生など)				●自然再生基本方針見直し (人口減少、防災・減災等の情報反映など)			
○環境影響評価		●環境影響評価法改正 (配慮書手続きの導入など)									●環境影響評価法施行令の改正 (太陽電池発電所の設置の工事など)		
国際的な動きなど (保護地域関係)	COP10 愛知目標採択				第1回アジア 国立公園会議	第6回世界 公園会議 アジア保護地域 パートナーシップ			IUCN 保護地域のグリー ンリストの基準 (ver 1.1)公表	COP14 OECMsの定義採択 認定に関する助言の 適用等の奨励	IUCN OECMs関連 ガイドライン		

